

FORUM

このコーナーでは、本誌の記事内容に関する疑問・質問・突っ込み、あるいは読者の声などにお答えします。

かぜに抗菌剤処方時の薬剤師の対応に疑問

抗菌薬に関する最近の出来事です。近所の内科の開業医を受診した後に「門前薬局」に処方箋を持って立ち寄りました。他の患者さんと薬剤師のやり取りをさりげなく聞いていたら、処方薬剤が、解熱鎮痛剤・トロチ・うがい用の薬などがあり、風邪と診断されたのだろう、と思いました。さらに聞いていたら、抗菌薬が処方されていて、思わず耳を疑いました。

また最近、知人から聞いたことですが、別の内科開業医で風邪と診断され、抗菌薬を処方されたとのこと。

最近、薬剤耐性菌という言葉や、さらにはサイレントパンデミックという言葉が一般のマスコミでもよく報道されており、また、抗菌薬は風邪やインフルエンザには効かない、不要、とはっきり報道しています。それにも関わらず、いまだに、現場の医師は風邪と診断した患者に抗菌薬を処方するケースが多いのではな

いかと思われます。

前述の門前薬局の掲示板には皮肉にも、薬剤耐性菌について啓発するポスターが貼ってありました。それでも、医師の処方通りに、風邪に抗菌薬を出していました。

医師が風邪と診断した患者さんに、医師の処方箋に基づいて調剤薬局で抗菌薬を渡す時、現場の薬剤師は、どう思っているのでしょうか。（島根県：一読者）

【編集部：すべての薬局が投稿にあるような対応ではないはずですが、全くないとも言い切れないのが実状かもしれません。風邪での処方に抗菌剤がある場合、薬剤師はどう対応するといいいのか、また読者が患者の立場でこういう処方箋を受け取ったとき、どのように対処するといいいのか、みなさまのご意見をお待ちします。】